



藤沢市立明治中学校 学校だより

2023年4月21日

明中通信

No. 1

発行 校長 中尾安伸

<学校教育目標> ひと・もの・ことと豊かに関わりながら たくましく生きる生徒の育成

学校ホームページ <http://www.fujisawa-kng.ed.jp/jmeij/>

祝 入学・進級

おめでとう がんばろう

4月6日(木) 213名の新入生を迎えて、令和5年度明治中学校がスタートしました。

2年生196名、3年生209名の全校生徒618名。

4/6の入学式、始業式から、早いものでもう半月(15日)経ってしまいました。少しずつ新しい生活にも慣れてきたころでしょうか。

右は横 270 cm 縦 90 cm の大パネル。絵は美術部が担当してくれました。(PTAとおやじの会の方々にもご協力いただいた大作です)



【創りあげたい学校】

みなさんと一緒に創りあげたい学校の確認です

《明治中学校の学校教育目標》

『ひと・もの・ことと豊かに関わりながら たくましく生きる生徒の育成』がです。

そのために、《目指すべき大切な学校生活》として

『誰もが安心して学べる学校を創る』を目指します。

《達成するための「合言葉」》として

『自分も 人も 大切に』を使います。

この「合言葉」には様々な思いがこめられています。

1つ目は 言葉通り。自分も 周りの人も 一人ひとりが大切な存在であるということです。

2つ目は 自分と人は違う、違っていいということです。

考え方や興味を持つもの、行動や言動、得意なことや苦手なこと、好きなことや嫌いなこと同じであっても、ちがっていても いい。「みんな ちがって みんな いい」

しかし、周りの人の考えを受け入れる、受け止めること。これは大切。

「自分を大切に して また自分とは違う周りの人も大切に する」ということです。

何か 話が合わなかったり もめ事になったり 対立したりすることは 当然あるでしょう。

それでも そんなとき

「誰一人置き去りにしない」「誰もが安心して学べる学校にする」というこの2つの言葉をその場にいるすべての人が 思い出してほしい。

この2つの言葉を思い出したとき 我にかえるようにそれぞれが「共通した」ゾーンに戻る。それが とても大きなことではないでしょうか。

3つ目は この2つの言葉を思い出してそれぞれが共通したゾーンに戻る。

そのトリガーとして「自分も 人も 大切に」という「合言葉」が活躍してくれることを願っています。そんな、期待がこめられています。

<入学式の式辞(一部抜粋) 前文と似ていますが・・・もう一度伝えたくて>

5組 合志先生



「生徒一人ひとり」がそれぞれに「個性があり」、能力や興味・関心を持っています。

その個性や能力等が個々にちがうからこそ、「学校」という集団が大きな財産になるのです。

今日から皆さんは **それぞれの個性を伸ばしてください。**

ただし、「学校」という集団の中で個性を伸ばす

ということは、それぞれが自分自身にのみに目を向け、自分のことだけを考えて、自分勝手に行動してもかまわない、ということではありません。

3組 瀬戸口先生



多くの人との関わりで考える べき ことは、

「自分だけではなく、全ての人個性を育て、伸ばせる場所である必要」があります。

1組 宗先生



つまり、**自分の個性を伸ばすことと並んで、「自分の周囲にいる人たちの個性も大切にする」**、ということが**求められる場所**です。

「他者を尊重する」 「他者の個性をどのように自分の中に受け入れる」そこから、「それぞれの個性のちがいを理解しあうこと」で、はじめて学校という集団が大きな財産となり得るの

だと思ふのです。

6組 菅先生



これから、みなさんが学校の中で人と関わる際に、個性や主張が食い違うことも当然あるでしょう。

どうして いきますか。 周りの人に相談することも 必要です。

もう一つ、そんなとき

「全員が納得できる目的に立ち返る」ということを覚えておいてください。

2組 三添先生



明治中学校では「その全員が納得できる目的」を**「誰もが安心して学べる学校を創る」と**しています。どうでしょうか。この言葉を **納得できない人** いますか。

もし今後学校で、いさかいになったり、なろうとしたら

この「誰もが安心して学べる学校を創る」という言葉を 思い出してみてください。 周りの人に 思い出させてあげてください。

4組 海老沢先生



多くの場合、**「みんなが共有できる考え方」**は、**全員を原点に、全員を同じ考えに戻す効果**があります。

全員が原点に戻る から 「誰一人置き去りにしない」 に つながる のです。

ぜひ、自分の周りにいる他者の個性を尊重する、そのうえで自らの個性を伸ばす、という「意識」を持っていてください。そして、困ったときは原点に戻ってください。

祝いの詞→

ここで 本校の合言葉を紹介します。「**自分も 人も 大切に**」です。

「誰一人置き去りにしない」 「誰もが安心して学べる学校」をみなさんと一緒に創っていきましょう。今日からよろしくお願ひいたします。

PTA の福家会長の話。ためになりましたね。ICT のこと勉強しないと。

これからの世の中、人に助けってもらっていい、人と協力していい、自分を成長させるために今、そして今後何が**必要か、どうすれば良いか**を具体的に考えられるようになること。

「自分を成長させる力」をヤシナイ、**「たくましく生きる力」**をミニツケテイキマショウ



入学式誓いの言葉 上遠野 さん
入学式記念品授与 三吉 さん
対面式代表の言葉 伊藤 さん

←対面式の様子

大役を立派に果たしてくれた、3人の人たちに感謝と拍手を贈ります。ありがとう。



2023年(令和5年)度 職員紹介

<1年(緑学年)>1年学年主任・11組担任 宗 拓也 数学
 12組担任 三添 拓哉 保健体育 13組担任 瀬戸口 千春 英語 14組担任 海老沢雄大 社会
 15組担任 合志 晶子 国語 16組担任 菅 雅仁 技術 協力担任 中村 羽純 美術
 協力担任 鈴木 紗穂子 英語

<2年(黄学年)>学年主任 政近 吉郎 数学
 21組担任 池上 喬之 音楽 22組担任 松永 実紅 国語 23組担任 神保 英里 家庭
 24組担任 酒寄 康之 理科 25組担任 山本 真純 数学 26組担任 國廣 美津菜 社会
 協力担任 下重 沙央里 保健体育 協力担任 濱崎香奈絵 英語

<3年(赤学年)>学年主任 有留 志保 社会
 31組担任 渡邊 眞志 理科 32組担任 佐々木 奏 社会 33組担任 山下 登志子 保健体育
 34組担任 河村 友香 英語 35組担任 海野 茉奈 数学 36組担任 加藤 涼平 国語
 協力担任 伊藤 昇 数学 協力担任 雑賀 香織 英語

<学年外> 校長 中尾 安伸 教頭 猿渡 千恵子 教務主任 佐藤 雄司 理科
 養護教諭 納富 弥生 事務主事 友井川 淳子 用務吏員 宮盛 洋
 SSS・学習支援員 中野 亜由子 SSS 曾和 美佳 スクールカウンセラー 中村 優希 安藤 拓
 学校図書館専門員 三船 希 県費・市費講師 菊池 久登 理科 県費講師 高島 節夫 理科
 市費講師 親跡 実歩 音楽 市費講師 大内 知子 美術 学習支援員 岡本 孝博
 介助員・学習支援員 端山 徳子 中岡 啓子 津田 恭子 河原 宏子
 部活動指導員 伊東 輝明 介助員 菅 真由美 外国人外国語講師 ジョン サルバグ

運動会のブロック 5/27(土)【予備日5/28】 昨年は白。今年は？👏

白ブロック	赤ブロック	黄ブロック	緑ブロック	青ブロック	橙ブロック
35組	33組	31組	32組	34組	36組
26組	21組	22組	23組	24組	25組
14組	13組	11組	15組	12組	16組



3年生



2年生



1年生

4/19 ブロック抽選会各クラス代表1人が出てきての抽選。さて、明中の「新運動会」の幕開けです。

【4/7部活動・委員会紹介 生徒会主催】 新入生に部活動と委員会を紹介



各委員会の紹介



各部活動の紹介



各部顧問の先生紹介



生徒会本部役員

いつもながらに素晴らしい取組。生徒会本部お疲れ様！

【あいさつ運動 生徒会主催】



今年も始まりました。毎週水曜日。気持ちの良い挨拶からはじまります。



【感謝】 ほぼ毎日、目にする姿です。(今回は隠し撮り?)今もみんなの目を楽しませてくれているお花たち。入学式を彩ってくれたお花たち。そのお花たちが今も枯れていないのは・・・。こうして見えないところで、みなさんを支えてくれる方がいます。



<伝えたいことシリーズ>

今の滋賀県にあったと言われる長浜城。その城主になった、豊臣秀吉が、ある日領内で鷹狩をした帰り道。喉が渴いたため、寺に立ち寄ってお茶を頼みました。

そのとき寺の人が持ってきたのが、大きな茶碗いっぱいのお茶。喉が渴いていた秀吉は一気に飲み干し、「もう一杯」とお茶を頼みました。



次に寺の人はさっきよりも少し小さな茶碗に少し熱めのお茶を半分ほど入れて持ってきます。ゆっくりとそれをまた飲み干し、秀吉は「もう一杯」とお茶を頼みました。

そして次に寺の人が用意したお茶はさらに小さな茶碗にとても熱めのお茶を持ってきました。

この話を聞いたことがある人。いると思います。

でも、改めて読んでみると味わいのある話ですね。行間を読むというか、空気を読むというか。このお話しは「三献茶」と言われています。

相手が欲しているものを察する力。洞察力？ ひどく感動した秀吉はそのままこの寺の人を城に連れ帰り家臣としたとのこと。隠れた才能？ 私にもあるかな？ あってほしいな。この寺の人は かの 石田三成 だったとか。なかったとか。

【4月青少年育成協力会に参加して（知らない人も多い？ 伝えずにいられなくて）】

3年間明治中で勤務させていただきました。先日、4月の青少年育成協力会の会合へ参加させていただき、青木会長のお話を聞く中で、ふと感じたことがあります。

それは、総勢80名を超える組織。毎月、青木茂道会長をはじめとした方がいつも40人以上集まり、話すことは「地域の子どもたち」のこと。育成や安心を考えるために集う会。それは子ども達の笑顔や成長した姿が唯一の見返りでしょうか。「子どもたちのため」という想いだけでこれだけ多くの大人たちが集う会。涙もろく人情味あふれる私の涙腺はいつもよりなぜかより弱く、実は今回少し泣いていました。役員の方々、青少年指導員の方、民生委員児童委員の方、主任児童委員の方、保護司の方、CSWの方、多くの青少協協力者の方、明治小、羽鳥小、八松小、羽鳥中（、明治中）の各校長とPTA会長、おやじの会、おやどりの会、おはようボランティアの方々、事務局としてセンターの方のお顔を拝見しながら、会長のお話を聞いていた時のことです。マスクをしていたのでばれなかったと思っています。

私は元来心配性でもあります。様々なことから、生徒のことが無性に心配になってしまうことが少なくありません。きっと参加している各学校の校長先生方もそんな不安な気持ちを持つことがおありだと思えます。（先生アルアル）

しかし今回、青木会長から始まったみなさんの話を聞いていて、一緒に子どもたちのことを考えてくださっている地域の方々がここにたくさんいるとなぜかいつも以上に強く感じる事ができました。「遅いよ」と言う声が聞こえてきそうです。すみません。でもその「有り難さ」に本当の意味で気づけたように思えたのです。その「感謝の気持ち」から流れた涙でした。

【保護者のみなさまへ】

また、今年度に入りましても、日々多くの保護者のみなさまから温かいお声がけをいただき感謝の念に堪えません。おかげさまで、より「やりがい」を持って、学校運営にあたる事ができております。ありがとうございます。PTA本部の方々、役員の方々、ボランティアに参加して下さるみなさま、おやじの会のみなさま、そして地域のみなさまに今後ご支援とご協力を賜りながら、「誰もが安心して学べる学校を創る」を目指してまいります。

主役である「生徒」とともに、教職員一同、「完璧」は難しいとは思いますが、常に「よりよくなるよう」という気持ちを持ち、日々努力を積み重ねてまいります。

<【保護者のみなさま 要確認】就学援助制度について>

藤沢市ホームページ、広報、全校児童生徒に申請書とお知らせを配布等、各家庭への周知を図っているところです。希望者の申請漏れをなくすための簡単な案内文を掲載します。

*就学援助費制度をご存知ですか？藤沢市では、経済的な事情でお子さんの就学が困難な世帯に学用品費や給食費の一部を援助しています。ご希望の方は、必要書類を学校に早めにご提出、またはその旨をご連絡いただけますようお願いいたします。